

IV 都市問題への対応〔西欧〕——都市思潮①（第二次大戦まで）

38 オスマンのパリ都市改造

2006/10/21

1 オスマンの都市改造とは何であったか

- 1) 最後のバロック都市計画、皇帝の権威 ベルサイユ都市計画との差
- 2) 市民の叛乱への対策 パリコミュューンの鎮圧
- 3) 近代都市への対応 都市の機能化、美化、衛生化、民衆の利便、福祉、

2 第二帝政までのパリ

- 1) ガリア人 パリジイ人 シテ島
- 2) 6つの城壁 ①ローマ人(Ⅲ)、②ユージュ・カペー(XI)、③フィリップ・オーギュスト(1190-1213)、④シャルルV(1356-1368)、⑤ルイXⅢ(17-18世紀)、⑥徴税請負人の柵(1784-1791)、⑦ティエールの城壁(1841-1845)1922まで
- 3) オスマン前 プールパール、シャンゼリゼー(1724-)、コンコルド広場
- 4) ナポレオン 凱旋門(1807-1837)、運河、上水、下水、照明、舗装

3 ナポレオン三世とオスマン

- 1) ナポレオン三世 1808生まれ 1815亡命(ボナパルト家追放) 叛乱、投獄、脱出
1849大統領 51皇帝(自由主義帝政) 53オスマンの任命(セーヌ県知事) パリ省
- 2) オスマン 1809生まれ 弁護士 行政官
- 3) 二人の関係 ①皇帝(イギリスでの生活、色鉛筆、構想家、実務派?)
②オスマン(執行官、総合プロデューサー、技術屋の組織化)

4 パリ大改造計画(オスマニザシオン)

- 1) 人口の増加 55万(1801) 78万(31)105万(51)170万(61,20区)199万(81)271万(01)
- 2) 総合調整 目標へ向けてバランスの取れたまとめ(オーケストラの指揮者)
- 3) 再開発、都市の外科手術 不良地区整理、土地収用法(周辺を含む買収)

5 改造計画の内容

- 1) 大街路 3本の大街路(大十字路 要所の連結 市内と周辺連絡)
- 2) エトワール広場 12本の街路 皇后道路(幅120m) 市民憩い+歴史的記念
- 3) 上水道(ヴァンヌ溪谷1875完成) 下水道(107k⇒560k)分流式
- 4) 街灯 光の都市、歓楽の都市 ガス灯9000(30)⇒23325(69) アーク灯(81)
- 5) 公園(parc) ブローニュの森 ヴァンセンヌの森 辻公園(square)
- 6) 都市施設 中央市場(レ・アル)(54-66) オペラ座(1861-1875)

6 オスマンの評価 独断専行、秘密主義、容赦なき破壊

- 1) 資本主義時代の都市の近代化 第一回万博(1855) 第二回万博(67)入場1100万
- 2) 市民生活の向上
- 3) 交通の利便性向上 街路、鉄道
- 4) 総合演出 生産的支出論(入市税) パリ公共土木事業金庫

パリの拡大

- ローマ時代の城壁
- ==== フィリップ・オーギュストの城壁
- シャルル5世の城壁
- ==== ルイ13世の城壁
- 徴税請負人の堀
- ==== ティエールの城壁

- 1 ドフィヌ門
- 2 クリシ門
- 3 サン・トッドアン門
- 4 クリニャール門
- 5 ラ・シャペル門
- 6 シェンタン門
- 7 リラ門
- 8 モンルイ門
- 9 シャラント門
- 10 ウィーリ門
- 11 イタリー門
- 12 オルレアン門
- 13 ヴァン門
- 14 ウェルサイユ門
- 15 オートゥイユ門
- 16 泉子公園



- 17 トロカデロ
- 18 グラン・バレー&アティバレ
- 19 サン・ラザール駅
- 20 北駅
- 21 東駅
- 22 ラ・ヴィレット馬場
- 23 レピュブリック広場
- 24 ナシオン広場
- 25 リヨン駅
- 26 オーステルリッツ駅
- 27 ぶどう酒市場
- 28 ゴブラン工場
- 29 ベール・ラ・シェーズ墓地
- 30 リュクサンブル
- 31 陸軍士官学校
- 32 アンヴァリッド (廃兵院)
- 33 エッフェル塔
- 34 博覧会会場
- 35 下院
- 36 リシユエードゥルオー広場
- 37 ルーヴル宮
- 38 技藝保存院
- 39 ヴォージュ広場
- 40 ソルボンヌ
- 41 中央市場
- 42 マリ市役所
- 43 エトワール広場
- 44 ド・メニル池

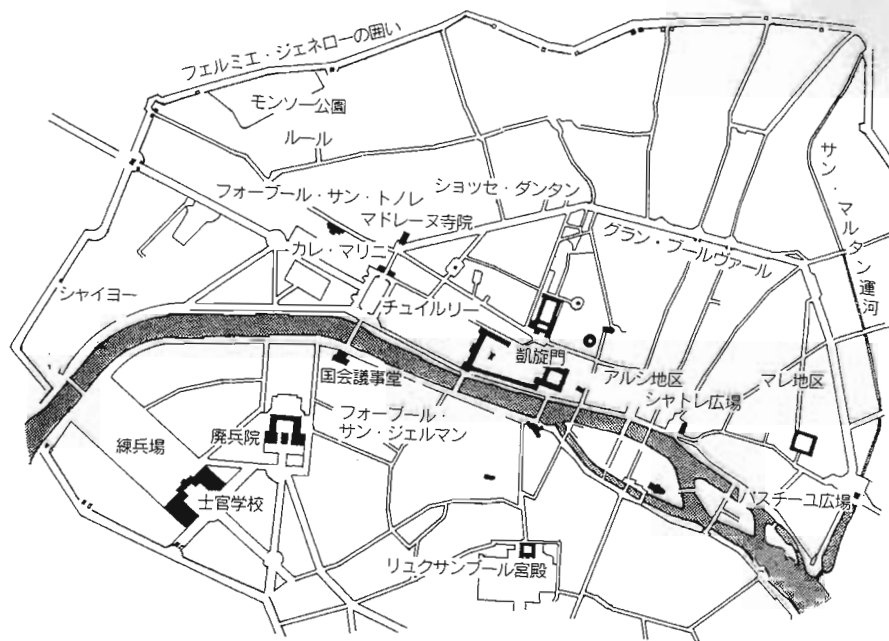


図 33 王政復古の頃のパリ

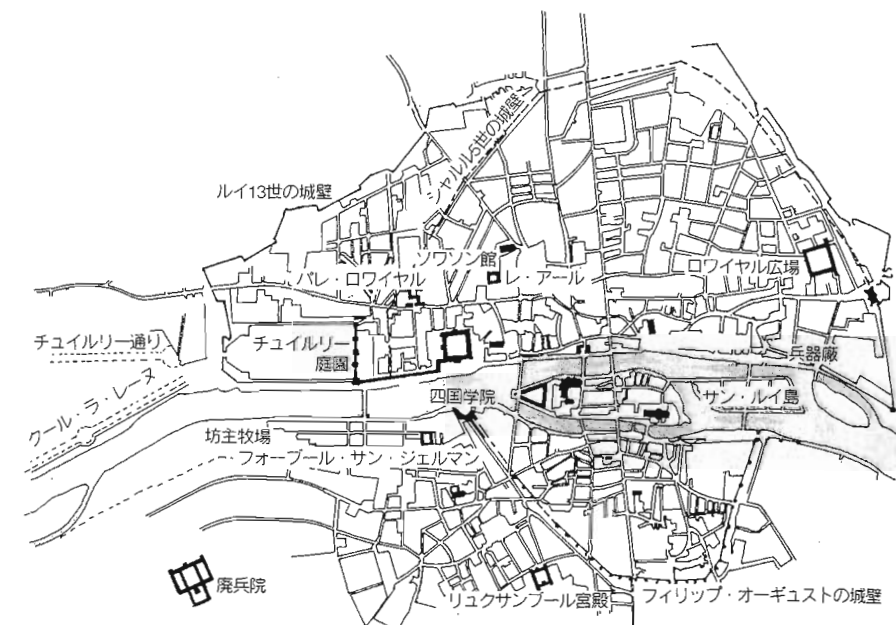
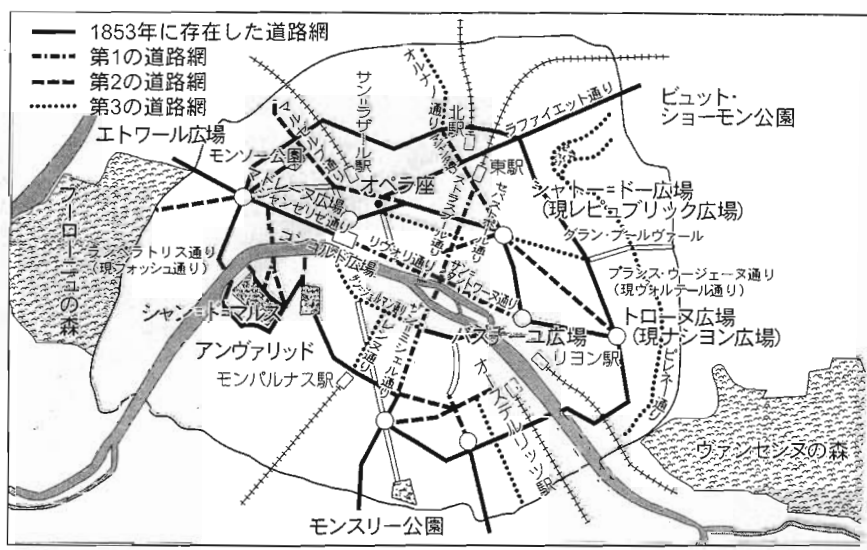


図 19 1672 年のパリ



3つの道路網地図



ナポレオン3世とオスマン